

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 308 号	氏名	曾 山 明 彦
学位審査委員		主 査	上 平 憲
		副 査	永 安 武
		副 査	宮 崎 泰 司
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は癌細胞の分散活性に関与する細胞間結合因子 E-カドヘリンの可溶性分画(soluble E-cad) の血中濃度が肝細胞癌の術後早期再発や肝外再発のサロゲートマーカーとなるか否かの検討で、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>肝癌細胞の E-cad 発現は免疫染色法、血中可溶性 E-cad は ELISA 法で測定され、その値と臨床病理的パラメーターは適正に統計処理され、研究手法・解析手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、soluble E-cad は従来の種々の肝癌術後イベント予知因子とは独立した新しい肝外再発予知マーカーであることを明らかにし、解析・評価も正しく行われ、今後の肝癌臨床腫瘍学の進歩への貢献が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は癌外科治療学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			